## 過去4年の取り組みは(自己検証)

| 分 類 | 提案数 | | 実現数 | 達成率 |
|---|---|---|---|---|
| 公 約 | 8分野 | 26政策 | 13政策 | 50% |
| 一般質問 | 16議会 | 27問 | 18問 | 66% |

**4年前のパンフレット**では**8分野**の提案を行い、それを細分化したところ**26政策**ありました。その達成状況を自己検証したところ、**実現したのは13政策、50%**でした。中には水源林の取引規制条例など時期尚早だったもの、通学路危険箇所など一度改善したが比奈窪バイパス開通で悪化が懸念されるものなどもあり、それは実現できなかったとしました。実現したものには、小中学校のエアコンや太陽光発電の設置、オンデマンドバスなど町の考えと合致し、結実したものもあります

**本会議では毎回一般質問を行い、27問の政策提案**をしています。町が取り上げなかったもの、検討するといっても現在まで何の動きのないものは27問中9。一方、政策として実施、もしくは実施予定のあるものは10、別の動きが取られても、意図が汲み取られたと思われるものは8ありました。**何らかの動きにつながったものは合計18問となり、ちょうど3分の2**です(下表参照)。

おもな実現したもの(提案が最近のものから)

| |
|---|
| 脱輪が相次ぐ無蓋側溝に甲蓋設置を→徐々に改善中 |
| 地球温暖化対策推進を→27年度事業に |
| 子宮頸がんワクチン副反応の周知→判断できる情報提供 |
| 国保レセプトで医療費削減を→効果的な保健指導を実施 |
| ソーシャルネットワークの活用を→開設された |
| 幼保小中の避難体制共有化→同日に避難訓練を実施 |
| 災害時に安心メールを→導入された |

給食の放射能検査は異例の2度目の質問で産地公表につながりました。学校司書の配置には司書教諭活用で、携帯電話基地局設置ガイドラインや富士山噴火への対策は国の動向を見てからとの回答でした。

詳細は、ホームページ「一万人家族」に掲載しますが、**公約、一般質問は実現しなくても、自分の課題として継続して取り組んでいます**(サマースクールや清掃ボランティア、オンデマンドバス約300回乗車など)。

**ここに新たな公約をお届けすることをうれしく思います。実現可能なものに逃げず、またスローガンだけに留めず、これからの中井町に、私たちのよりよい暮らしに必要な政策をご提案します。ご意見をお聞かせ下さい。**

## とむらゆうじプロフィール

昭和43年(1968)4月26日 東京生まれ 中学まで千葉県で育つ
昭和59年(1984) 千葉大学教育学部附属中学校卒業
ガソリンスタンドを営む東京・錦糸町の父の実家に転居
母方の実家は千葉で現在も専業農家
昭和62年(1987) 東京都立両国高校卒業
平成4年(1992) 国際基督教大(ICU)教養学部社会科学科卒業
平成6年(1994) 同大学院比較文化研究科博士前期課程修了
専攻インド思想史マハトマ・ガンジー研究 比較文化修士
平成6年(1994)株式会社キリスト新聞社編集局記者
結婚を経て、子どもが生まれるのを機に厚木市に転居
平成9年(1997)福祉施設勤務
重度心身障害者、身体障害者、高齢者とのかかわり
平成12年(2000) NGO「愛の樹」グループ愛の会事務長
フィリピンハンセン病隔離島支援・国内ホームレス支援
欧米の福祉・地方自治・地域貨幣などに関する実地調査
平成14年(2002)NGO本部・事務局移転で、中井町民に

### 中井町での活動

中村保育園保護者と先生の会会長、中村小学校PTA会長、中井中学校PTA会長、中村小学校評議員、松本上自治会会計、スポーツ振興員、五所八幡宮神輿担ぎ手4回、世話人

### 平成27年(2015年)4月現在

平成15年～ 松本松栄会会員
平成20年～中村小学校読み聞かせボランティア
平成22年度～中井町読書活動推進会議委員
平成22年度～中井町子ども会育成指導者連絡協議会(町子連)副会長(4年目)
平成24年度～中井町社会教育委員会議委員
平成23年4月～中井町議会議員
平成25年度～県立秦野高校PTA会長(3年目)

| どなたでもご参加、ご利用いただけます | |
|---|---|
| 一万人家族の会定例会<br>ご希望に合わせてミニ集会も | (1、5、8月除く)毎月第1(水)<br>夜7時～改善センター |
| 毎週更新 一万人ダイヤル | 050-3159-5590 |
| ホームページ 一万人家族 | tomurayuji.info |
| facebookページ | 一万人家族の会 |

| 戸村裕司の連絡先・SNS | |
|---|---|
| 住所 中井町松本1026−17 | 電話 0465-81-2037 |
| tomurayuji@docomo.ne.jp | 携帯 080-8050-7535 |
| facebook 戸村裕司 | Twitter tomurayuji |
| LINE@とむらゆうじ | LINE yujitomura |

討議資料

# なつかしい未来へ

## 大切なもの、次代につなごう

# とむらゆうじ 47歳

### ごあいさつ

3・11直後、放射線測定器を入手した、わたしは町内から周辺市町を計測し、いわゆるホットスポットがないことを確認しました。議会でも計測を訴えましたが、町の調査はその半年後。給食の食材検査もとりあげましたが、産地等の公表にとどまりました。わたしの見る限りでは適切な食材が使われています。

中村保育園存続の請願には712筆の署名が集まり、中井町議会20年ぶりの請願の紹介議員として、その思いを伝えさせていただいました。また、集団的自衛権の解釈改憲への反対の意見書も議員発議しました。いずれも形になりませんでしたが、議員に与えられた役目を十分果たすことを心がけています。

しかしながら、子育てに、地域に、そして社会にかかわる中で、わたしの原点は一生活者、一町民です。今後共、みなさんと一緒に、中井町の大切にしてきたものを受け止め、次世代につないでいきたいと思います。それは「なつかしい未来」と呼べるのではないでしょうか。

戸村裕司

# 町が、議会が、なによりも私たちがいきいきする、9つのご提案

## ①教育こそ最大の子育て支援

中学修了までの医療費無料化など町はさまざまな子育て支援に取り組んでいます。各種の助成は家計を助けてくれますが、質の高い教育こそ最大の子育て支援と考えます。とくに中学校の日々の授業を充実し進路の選択肢を広げましょう。児童生徒に防災ヘルメットを支給し安全を深化。高校生の医療費無料化や教科書代支援などで、教育・子育て支援は長期に渡るべきです。

## ②孤立しない介護・社協等の連携強化

65歳以上の高齢者の単身者世帯や夫婦世帯が増えています。孤立しない介護、安心してかかれる医療の拡充が必要です。介護度が高くても質の高いサービスが受けられるよう、地域包括ケアシステムでは地域ケア会議の充実などでが必要です。災害時にあっても重要な役割を果たす町社協への支援、自治会(自主防災会)、民生委員の働きの連携強化を。

## ③近き者説(よろこ)び、遠き者来たる

オンデマンドバスは高齢化がすすむ中で真価を発揮する、なつかしい未来の乗り物です。緊急度を増している買い物支援でも、オンデマンドバスで行ける空き店舗等を活用し、出店支援することで、町内のローカルワークの拠点を生み出す契機になります。私たちの幸せをより高め、明るく温かい街で暮らしたい、子育てしたいと願う人に届くよう、情報発信しましょう。

## ④生物多様性のまちづくり

現在行われている生物多様性調査で、町内では絶滅危惧種とされる動植物が多数見つかり、中井町の自然の豊かさが裏付けられています。

こうした生物多様性を保全し維持することは、地球規模で重要なことです。保全に向けた条例制定、環境を維持するための生物多様性地域戦略への取り組みを始めることで、適切な自然体験を基板にした観光や交流がうまれます。

## ⑤無駄なものを資源に変える

鳥獣被害を軽減するためにも、竹害対策は必要です。竹は専用の粉砕機でパウダー状にすれば、飼料になり、発酵させれば堆肥にも使えます。また、町の生活ゴミの1割を占めるといわれる紙おむつは、年間数トン単位で増加しています。現在、紙おむつを燃料化する技術が広がっています。無駄なものを資源に変え、また再生可能エネルギーの地産地所有で持続可能な地域づくりを！

## ⑥なかい文化ルネサンスを興そう

町内の大山道など歴史的な道の中には廃道寸前になっているものもあります。中井古道を復活させ、郷土資料館やメガソーラーのある南部地区などと結ぶ道づくりをしましょう。

また町内には図書室が小中も含めれば5つ点在しています。電算化しひとつの図書「環」を作り、生涯学び続ける中井人の文化ルネサンスを興しましょう。

## ⑦あなたの働きを徹底応援

ボランティアが手を上げても、その働きを必要としている人とのマッチングができないのが現状です。「この指とまれ！」とマッチングする調整や、促進するポイント制度やイベントが必要です。そこからも地域に根ざした仕事(ローカルワーク)が生まれるよう徹底応援します。

ご相談には「迅速・正確・親身」をモットーにお応えしています。お気軽に声をかけて下さい。

## ⑧議会改革を次の段階に

議会基本条例制定と関連する改革に文字通り尽力してきました。今後は、そこから生まれた議会報告会や意見交換の場で対話を推進し、壁のない議会づくりを目指します。

生物多様性や、子どもの遊び場への理解推進、携帯電話基地局建設などに関する政策条例を最低でも2本策定、予算決算審議を特別委員会で行うなど、議会改革を次の段階に進めます。

## ⑨議員活動を検証可能に

個人として毎月、議会報告と課題共有、まちづくりのチーム作りの場となる集まりを開催します。インターネットがない方にも電話による情報提供を行います。このパンフレットの公約は「マニフェストスイッチプロジェクト」にエントリーし、議員活動を検証可能なものにします。

マニフェストスイッチ

## 中井町だからできる、持続可能で豊かなまちづくりを一緒に続けましょう